

令和7年度三重県精神保健福祉審議会  
アルコール健康障害対策推進部会 議事概要

- 1 開催日時 令和8年2月25日(水) 18時00分～19時30分
- 2 開催方法 オンライン開催
- 3 出席委員 会長 鬼塚 俊明 他委員9名
- 4 議事概要

(1) 三重県アルコール健康障害対策推進計画(第2期)の進捗状況について  
＜事務局等からの報告内容＞

「三重県アルコール健康障害対策推進計画(第2期)」に基づき、令和7年度  
の取組概要と令和8年度の取組計画等について報告しました。

＜委員からの主な意見、各所属団体での取組状況の報告＞

- ・飲酒運転による死亡事故件数をみると近年は増加傾向にあり、何らかの対策をしないといけないと思う。
- ・件数については、全国の中での三重県の位置づけも見て、県の取組の効果を見ていく必要があるのではないかと。
- ・総合病院から精神科病院につながる患者が年々少なくなっているかと懸念している。
- ・刑務所で研修を行う際に、無免許での飲酒運転者もいて、あまり反省の意識がない人もいるが、実体験を話すと受け取り方も変わると感じている。
- ・四日市モデルとして、エスパーツの研修会と他機関事例検討会の取組を行っており、県内や全国に広めていきたい。
- ・アルコールに関して、医師や医療機関に対する啓発も重要だと考えている。
- ・患者を自助グループにつないでくれる内科医や産業医もいる。研修を受けるとだいぶ変わると思っている。
- ・患者にアルコールが残っていない状態である入院時等は、自助グループ等の情報提供を行う良い機会であると思う。

＜事務局からの回答＞

- ・患者に対して、総合病院、警察、消防、保健所など、機会をとらえて精神科病院や自助グループへのつながりができるように取組を進めていきます。